

卷二

406

三字經譯語

青木輔清閱  
吉田徹三譯

完

炎宋 王伯厚 原撰  
青木輔清 閱  
皇京 吉田徹三 譯

# 三字經譯語

完

出版御届 明治十四年十二月十日 文榮堂發兌

## 三字經譯語緒言

幼童ノ學ニ入ルヤ先三字經孝經ノ如キ簡短ナル句讀ヲ授ケ然後ニ聖經史文若クハ格物致知ノ書ヲ讀マシム是ト古ヨリ人ヲ教ユル次序ナリ而シテ最大切ナルハ其初歩ニアリ今吉田氏三字經ニ讀例ト意義トヲ附シテ以テ窮郷僻地ノ童蒙ニ優ニ下ス余之ヲ閱スルニ右傍ニ讀例ヲ施シ左傍ニ意

義ヲ淺解ノ句讀ノ際自然其意味ヲ會得セシ  
ハ實ニ瑣瑣クル一冊ナリト雖モ其學ニ入ルノ  
捷徑童蒙ニ裨益アルト豈淺鮮ナラズ哉斯ク  
有益ノ書ノ出ツルヲ喜ト為ニ一言ヲ卷端ニ弁ス  
云

明治十四年十一月

青木東江識  
月癡迂人書



三字經

宋 王伯厚撰

皇京 吉田徹三譯

人之初

性本善

性相近

習相遠

苟不教

性乃遷

教之道

貴以專

昔孟母

擇鄰處

子不學

斷機杼

實燕山

有義方

教五子

名俱揚

名は天下に大名ヲナセリ

教不嚴

教は厳シクシテ人オボシカナラヌハ

非所宜

非は所ニシテヨロシカラヌナリ

玉不琢

玉は琢ルベシガザルキハ

不知義

義ヲ知ラズモクハ

親師友

親シキモノニモニシテ

養不教

養ハシムルモテ教ヘナキハ

師之情

師ノ情ニシテモノ、オコタリナリ

幼不學

幼キモノハ片ガクモシセザレバ

不成器

器ヲ成ラズハモノトハナラヌナリ

為人子

人ノ子トシテ

習禮義

禮義ヲ習フベシ

父之過

父ノ過トシテ

子不學

子ハ父ノ教ヲ受ケテ

老何為

老キテ何ヲ為スルゾヤ

人不學

人ハ學ブベシガ

方少時

少キ時ニシテ

香九齡

香九ノ歳ニシテ

能温席

能ク温ムル席

融四歲

融ハ四ノ歳ニシテ

宜先知

宜シク先ニ知ル

知某數

知ル某ノ數

十而百

十ニシテ百ナリ

三才者

三才ハ天、地、人ナリ

孝於親

親ニシテ孝スル

能讓梨

梨ヲ讓ルベシ

首孝弟

孝、弟ハ第一ノ事ナリ

識某文

某ノ文ヲ識ル

百而千

百ニシテ千ナリ

天地人

天、地、人ハ三才ナリ

所當執

所ニシテ當ル事ヲ執ル

弟於長

長ニシテ弟スル

次見聞

次ニシテ見、聞

一而十

一ニシテ十ナリ

千而萬

千ニシテ萬ナリ

三光者

三光ハ日、月、星ナリ



乃八音 ハツノオンガクトイフ

高曾祖 オホヂバ、ヒナヂバ、ヂバ

父而身 オヤヨリシテ、ワガミトナリ

身而子 ワガミヨリシテ、子トナリ

子而孫 子ヨリシテ、マゴトナリ

自子孫 ヨリ、子マゴヨリシモ

至元曾 ヒマゴ、ヤシマゴニ、イタルラ

乃九族 オホモチキリ、ソク、カゾクトイフナリ

人之倫 ヒトノ、ヒトノ、ヒトト云ハ

父子恩 フ、コ、シ、オン

夫婦從 フ、ウ、フ、ハ、ヤ、ワ、ラ、キ、シ、タ、ガ、ヒ

兄則友 ア、ニ、ハ、メ、シ、タ、ラ、ア、イ、シ

弟則恭 テ、イ、チ、キ、ヤウ

長幼序 チヤウ、ヨウ、ド、ヨ

友與朋 イ、ウ、ト、ト、モ、ダ、チ、シ、タ、シ、ミ、ト

君則敬 キミ、ハ、ソ、コ、ツ、ラ、セ、ズ

臣則忠 シ、ン、チ、ウ、ヘ、ト、シ、タ、ノ、ジ、ユ、ニ、ト

此十義 コノ、ト、モ、ダ、チ、シ、タ、シ、ミ、ト、コレラ、五倫ハ、十義ト云フ

人所同 ヒトノ、ヒト、ト、モ、ニ、フ、ム、ト、コ、ロ

凡訓蒙 スベテ、ゴド、モ、ラ、ラ、シ、ユ、ル、ハ

須講究 ワカ、リ、ヨ、ク、ス、キ、ラ、ト、ク、ベ、シ

詳訓詁 コト、コト、コト、コト、コト

明句讀 コト、コト、コト、コト、コト

為學者 ガク、モン、ラ、ナ、ス、モノ、ハ

必有初 キツト、ハ、ジ、メ、ル、シ、ユ、ニ、ア、リ

小學終 コ、ハ、ハ、朱子ノサクナリ

至四書 コ、ハ、ハ、学庸論孟ナリ

論語者 コト、コト、コト、コト、コト

二十一篇 スベテ、ニ、十、ヘ、ン、ア、リ

群弟子 コト、コト、コト、コト、コト

記善言 コト、コト、コト、コト、コト

孟子者 コト、コト、コト、コト、コト

七篇止 コト、コト、コト、コト、コト

講道徳 コト、コト、コト、コト、コト

說仁義 コト、コト、コト、コト、コト

作中庸 コト、コト、コト、コト、コト

子思筆

中不偏

庸不易

作大學

乃曾子

自修齊

至平治

孝經通

四書熟

如六經

始可讀

詩書易

禮春秋

號六經

當講求

有連山

有歸藏

有周易

三易詳

有典謨

有訓誥

有誓命

書之奧

我周公

作周禮

著六官

存治體

大小戴

註禮記

述聖言

禮樂備

曰國風

曰雅頌

號四詩

當諷詠

詩既亡

詩經

詩經

春秋佐

寓褒貶

別善惡

三傳者

有公羊

有左氏

有穀梁

經既明

方讀子

撮其要

記其事

五子者

有荀揚

文中子

及老莊

經子通

讀諸史

考世系

知終始

自羲農

至黃帝

號三皇

居上古

唐有虞

號二帝

相揖遜

稱盛世

夏有禹

商有湯

周文武

稱三王

夏傳子

家天下

四一載

遷夏社

湯伐夏

十七世四百五十年

桀王トキニホロビタリ

商ノ湯王夏ヲウチヒボシ



國號商

六百載

至紂亡

周武王

始誅紂

八百載

最長久

周轍東

王綱墜

逞干戈

尚遊說

始春秋

終戰國

五霸強

七雄出

嬴秦氏

始兼并

傳二世

楚漢爭

高祖興

漢業建

至孝平

王莽篡

光武興

為東漢

四百年

終於獻

魏蜀吳

爭漢鼎

號三國

迄兩晉

宋齊繼

梁陳承

為南朝

都金陵

北元魏

釋書

七

分東西

宇文周

與高齊

追至隋

一字

不再傳

失統緒

唐高祖

起義師

除隋亂

創國基

二十一傳

三百載

梁滅之

國乃改

梁唐晉

及漢周

稱五代

皆有由

炎宋興

受周禪

十一傳

南北混

十七史

全在茲

載治亂

知興衰

讀史者

考實錄

通古今

若親目

口而誦

心而惟

朝於斯

夕於斯

昔仲尼

朝於斯

夕於斯

昔仲尼

師項索

古聖賢

尚勤學

趙中令

讀魯論

彼既仕

學且勤

披蒲編

削竹簡

彼無書

且知勉

頭懸梁

錐刺股

彼不教

自勤苦

如囊螢

如映雪

家雖貧

學不輟

如負薪

如挂角

身雖勞

猶苦卓

蘓老泉

二十七

始發憤

讀書籍

彼既老

猶悔遲

爾小生

宜早思

若梁灝

八十二

對大廷

魁多士

彼既成

釋語

三子

七



不如物 レ

幼而學 レ

壯而行 レ

上致君 レ

下澤民 レ

揚名聲 レ

顯父母 レ

光於前 レ

裕於後 レ

人遺子 レ

金滿贏 レ

我教子 レ

惟一經 レ

勤有功 レ

戲無益 レ

戒之哉 レ

宜勉力 レ

三字經止 レ

# 出版御届

明治十四年十二月十日  
同年同月出版

定價 八錢

編者

東京府平民 吉田徹三 

出版人

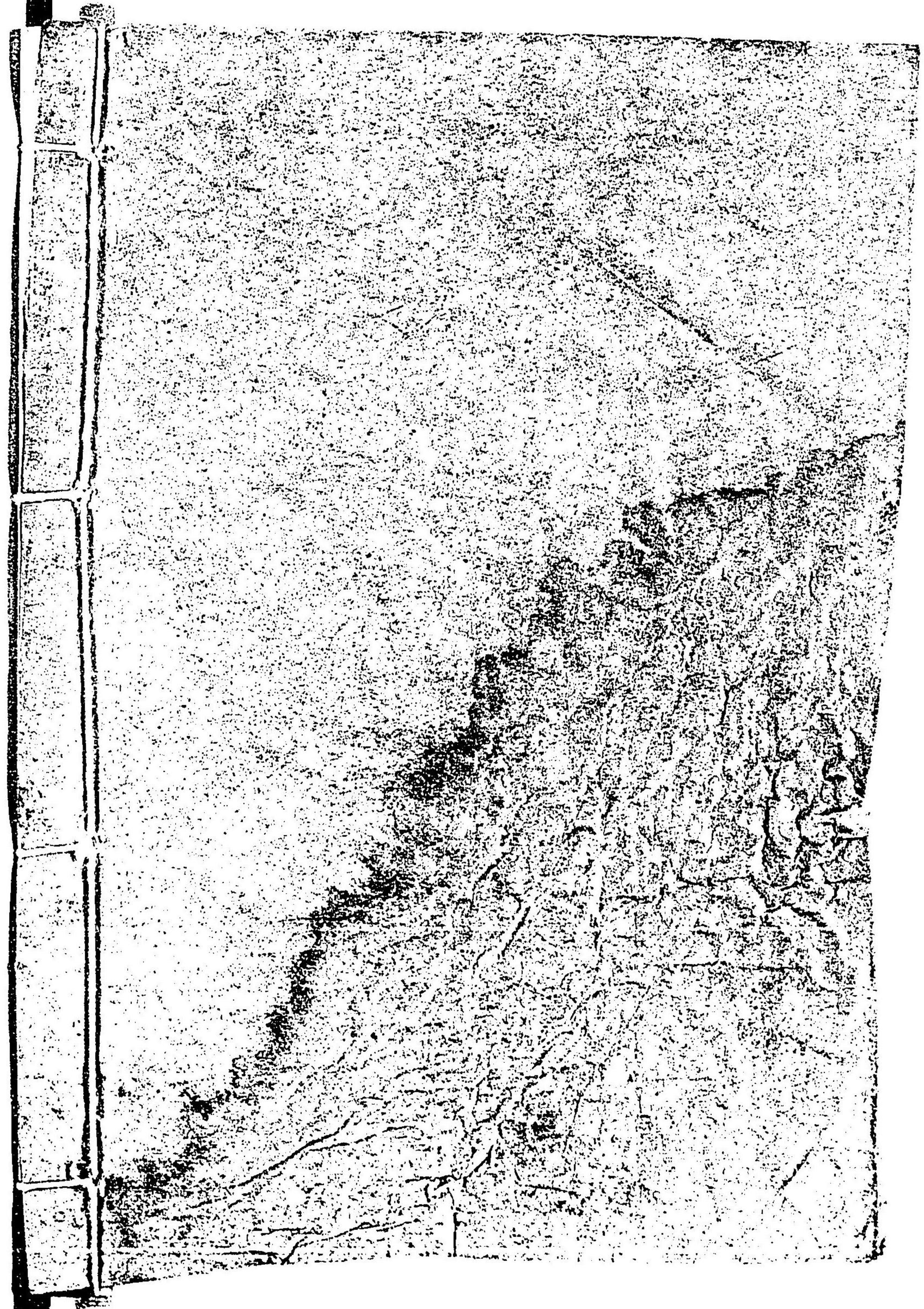
東京府平民 永井俊次郎 

發兌人

埼玉縣平民 岸田文吉 

埼玉縣下武州入間郡川越南町七番地





三字經譯語

青木輔清  
吉田徹三譯

完

特41

406

071744-000-2

特41-406

三字經訳語

吉田 徹三/訳

M14

CED-1432

